

第1回身近な水環境の全国一斉調査の概要

● 全国統一日

調査日 2004年6月6日(日)
参加団体数 360 団体(個人)
調査地点数 1,875 地点

● 調査総数(全国)

期間 2004年5月22日~7月26日まで
参加団体数 531 団体
地点総数 2,545 地点

● 調査地点(海外)

韓国 参加団体数 3 団体
調査地点数 10 地点
中国 調査地点数 8 地点

● 調査項目

気温・水温・試水水温

: 今回の一斉調査では現地の気温・水温・試水水温と三種類記入欄がありました。現地の気温と水温を記入していただく事で、同一日に行なった各地の気温と水温の分布が全国規模で把握することが出来ました。また、パックテストでCODを測定するためには試水水温が重要なファクターです。試水水温を測定することで反応時間を把握し、より正確な測定を実施することができました。

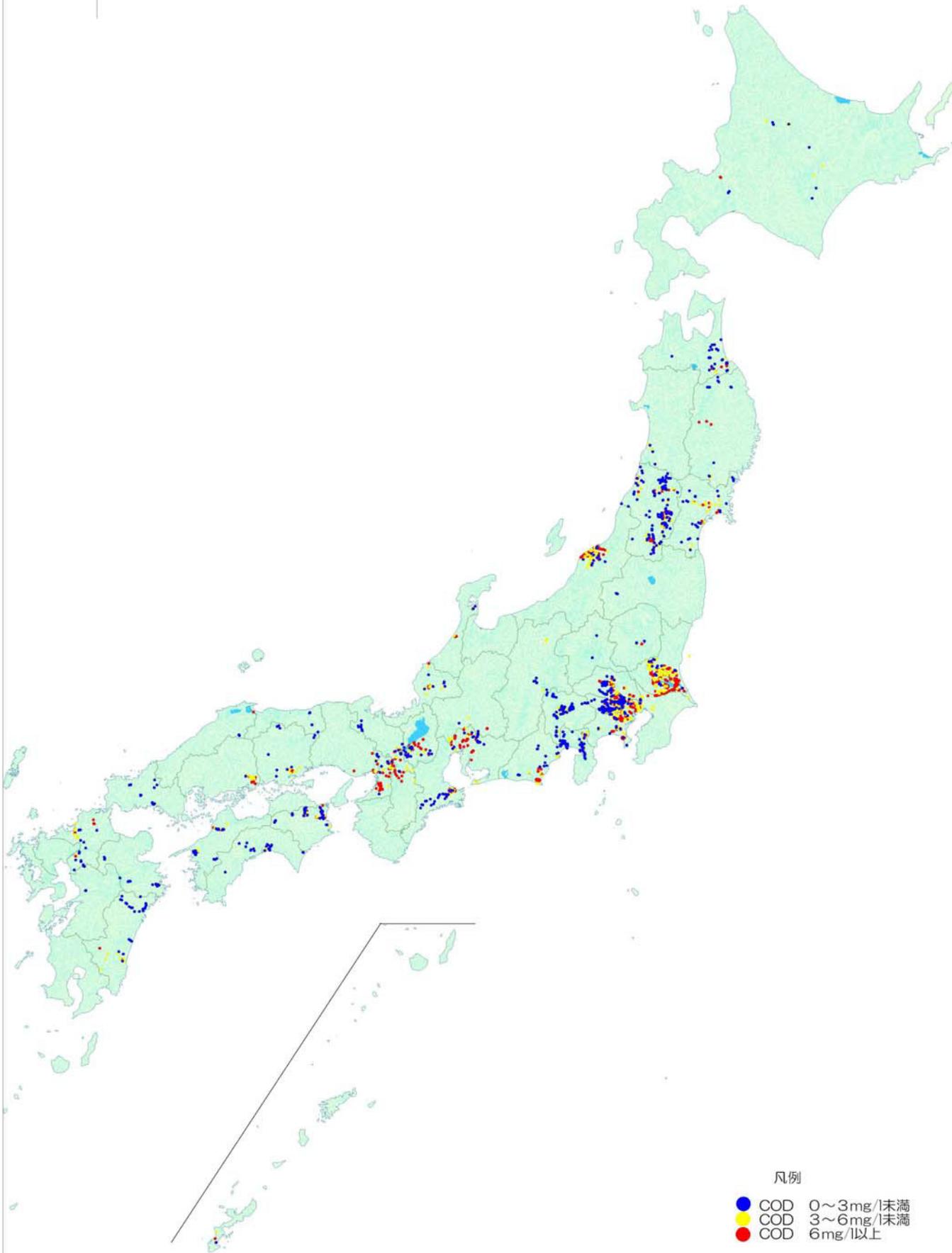
COD (化学的酸素要求量)

: 水質汚濁の指標の一つとして用いられます。今回の一斉調査では同一のロット番号(製造した試薬が一緒)のパックテストを用いました。また、同一試料を三回測定し、それらの中央値を採用することでより正確な測定を実施することができました。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha04/05/051224_.html

平成 16 年度 水環境マップ



凡例

- COD 0～3mg/l未満
- COD 3～6mg/l未満
- COD 6mg/l以上

注：このマップは、6月6日を中心に全国の市民団体等が実施した簡易な調査に基づくものです。調査地点の選定も調査主体が独自に行っており、また調査も一度限りですので、このマップのデータがその河川の水質を必ずしも代表するものではありません。

